



**ooyaishi** NPO法人 大谷石研究会



大谷石の魅力を全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

# 宇都宮市上田原地区 石蔵集落の調査を行いました

大谷石研究会は宇都宮市より「景観整備機構」の指定を受けています。これらの調査がこの地域の景観保全、修景、文化的価値の認知につながればと期待しています。

一昨年に行った徳次郎・西根地区に続き、昨年10月に、旧河内町上田原地区について石蔵集落の調査を行いました。西根同様、宇都宮大学工学研究科安森研究室と協働での調査となりました。

今回の調査地上田原地区には、田原街道(県道63号)沿いの約500m、21敷地の中に53棟の石蔵が並んでいます。半数以上が昭和に建てられた石積みので、蔵または納屋として使われています。街道に面して大谷石堀と一体になった石蔵、敷地内に独立する石蔵、石質、石肌の処理や開口部廻りの彫刻意匠、納屋として用いる為に大



上田地区



芦沼地区



上田原地区

開口を開ける為の工法的工夫等、いねいに見てゆくと興味がつきません。周辺に田園風景が広がる農村集落であるため生活の用として建てられ残っているのですが、農業後継者の有無、農業形態の変化に伴い、これらの建物は現在でも既に本来の用途を失っています。何軒かは内部を改装し、書斎など積極的活用を行っていましたが、多くは倉庫(物置)として、消極的使用にとどまっているとの印象を受けました。また、この集落が並ぶ田原街道は道路横断にも危険を感じるほど交通量も多く、歩道の整備も充分でない為、「街並み」や「風景」「景観」に意識が及ぶことが少ないのではないかと考えられます。

大谷石研究会はこれらの街並みを「宇都宮の誇れる景観」と捉えています。宇都宮の財産として考えています。地元の方々と協力してこの価値をさらに高めたいと考えています。

NPO法人 大谷石研究会 理事  
石蔵集落調査グループ  
武井貴志



上田原の石蔵



上田原の石蔵

ています。今後大谷石研究会、地元の方々、宇都宮市行政が協力しての活動に発展してゆく事を願っています。

今回この調査を行いながら、近辺の他の集落を、地元の方に教えていただきました。上田地区、芦沼地区。次はここです。2年目に入ったこの調査、まだまだ続きます。

大谷石蔵の集まる吉野町の一画。モダンな空間で正統派和食をご提供いたします。栃木県契約農家からの新鮮な野菜。下関、築地、金沢からの産直仕入れによる活鮮魚。「了寛」は個々のお客様の心地よい空間作りを目指します。



和食了寛 (りょうかん) URL: www.ryo-kan.net/  
栃木県宇都宮市吉野町1-7-10  
tel: 028-611-1711 月曜・第一日曜定休

みんながなかよく気兼ねなく  
快適・安心に暮らせる二世帯・三世帯住宅



住まいを通じて生涯のおつきあい  
**MISAWA 栃木ミサワホーム**  
お電話でのお問い合わせはこちら  
0120-15-3302  
〒320-0821 宇都宮市一条2-7-24 028(610)0330